

《2018 年 6 月幹事会 企画幹事資料》

【議題 3】2018 年 9 月例会、2019 年 1 月例会の準備状況

1. 2018 年度 9 月例会

開催日：2018 年 9 月 14 日(金) 13:30～16:30

場 所：薬学会館（東京）

講 演	演題・所属・氏名	備 考
一般講演	1) 13:30～14:15 「抗甲状腺薬における副作用とその作用機序に対する考察～薬物動態研究者の視点から～」 あすか製薬株式会社 創薬研究本部 安全性・代謝研究部 金子 真 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
	2) 14:15～15:00 「年齢及び肥満を含む体型の違いを考慮可能な新たな PBPK model の提唱と医薬品開発への活用」（仮題） 帝人ファーマ株式会社 生物医学総合研究所 薬物動態研究部 中村 利通 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
特別講演	15:15～16:15 「代謝ネットワークのシステム解析とその応用」 東京大学医学部 病院薬剤部 講師 本間 雅 先生	済 演題 済 演者 済 ご略歴
司 会	第一三共	

2. 2019 年 1 月例会・新年会

開催日：2019 年 1 月 18 日（金）、13:30～16:30（新年会 17:00～19:00）

場 所：東京ガーデンパレス（東京、御茶ノ水）

一般講演：

・会員名簿は日本化薬、日本ケミファの順。両社に 1 月例会でのご講演を打診した。日本化薬からは発表に前向きな返答を得ているが、発表許可の最終化には社内調整に約 1 ヶ月掛かるとのこと。日本ケミファからは「2019 年度の談話会で話題提供できる品目がなく、発表を辞退させて頂きたく存じます。ペナルティーの件、お受け致します。」との回答を得た。日本ケミファに替わる 1 月例会での講演として、日本新薬に講演を打診した。

特別講演：

・特別講演者は一般講演の内容と関連した先生の選定を検討する。

【議題 4】2018 年度 第 41 年会の準備状況

開催日：2018 年 11 月 15 日(木)～16 日(金)

場所：アクトシティ浜松（浜松）

＜第 41 年会組織委員＞

シンポジウム 1

- ・京都大学：山下 富義 先生
- ・静岡県立大学：吉成 浩一 先生
- ・武田薬品工業：平林 英樹 先生
- ・田辺三菱製薬：加藤 晴敏 先生
- ・久米 常任幹事、千葉 常任幹事

シンポジウム 2

- ・東京理科大学：西川 元也 先生
- ・国立医薬品食品衛生研究所：斎藤 嘉朗 先生
- ・塩野義製薬：長谷川 博司 先生
- ・久米 常任幹事、千葉 常任幹事

事務局：

- ・第一三共株式会社：安部 企画幹事
- ・塩野義製薬株式会社：長谷川、大西 企画副幹事

1. 年会プログラム案（添付資料 1）

- ・添付資料に示すように座長をお引き受けいただきました。
- ・全ての演者から講演タイトル（仮を含む）をいただきました。
- ・年会最後に事務連絡と称するバッファーを 15 分取りました。（実際の事務連絡は 5 分程度）
- ・シカゴ大学の中村祐輔先生は 7 月に日本に完全に帰国されるということです。
- ・それ以外 4 月幹事会以降、大きな変更点はございません。
- ・なお、本間光貴先生、内藤幹彦先生は 15 日の夜に遅れて到着されます。本間尚子先生は 16 日のお昼前までには到着されます。そのためお三方のショーケースでのご発表は skip となります。

2. 「ショーケースセッション」に関する確認

＊発表スライドについて

事務局は昨年杉山先生およびファイザー山崎先生のスライドを例として演者へ配布する。（山崎先生了承済み）

各演者はスライド 3 枚程度に纏めて、10 月末までに事務局へ提出していただく。

＜お話して頂きたいこと（3-5 分）＞

- Ⅰ 簡単な自己紹介（必須）
- Ⅰ 翌日の発表の骨子（必須、原則スライド 1 枚）
- Ⅰ 最近驚いたこと、感動したこと、幸せを感じたこと、趣味、メッセージ、など

3. 年会ポスター案（添付資料 2）

キャッチコピーについては、in silico、核酸、プロテアソームと新規分野にも薬物動態が多岐に渡る貢献をしていることを鑑み以下のように考えました。審議をお願いいたします。

案. 「次世代の創薬を育む薬物動態研究」

4. 「展示企業によるブース紹介」に関する確認

展示の紹介プレゼンテーション (1 社 : 2 分)

5. 展示ブースについて (庶務幹事対応中) (添付資料 3)

昨年度と同様に 4 階ロビーにて展示ブースを設置する。最大で 8 小間を募集中。

<申し込み済み : 4 件>

・フェニックスバイオさん、富士通九州さん、神戸天然物さん (久米常任幹事アプローチ、非会員お試し参加)、ブルカージャパンさん (長谷川企画副幹事アプローチ、非会員お試し参加)

<例年の参加企業で返事待ち : 2 件>

・ネモトサイエンスさん、バイオタージさん

<お声掛け中の候補 : 1 件>

・日立ハイテクさん : 安部企画幹事がアプローチ中 (返事は 9 月末)。

6. 意見交換会および二次会について

<進行方法 (時間等に関しては後ほど議論) >

意見交換会 (3 階「チェルシー」) : 19:45~21:15 【司会進行 : 島本庶務幹事】

(1) 杉山会長の挨拶

(2) 乾杯 : 加藤名誉会長

(3) 特別講演の先生及び特別会員の先生のご挨拶 & 中締め (20:40 頃) :

【中村 祐輔 先生、特別会員の先生 (杉山会長と当日相談?)】

(4) もし来て頂けるのであれば森脇常任幹事のご挨拶?

(5) 2 次会の案内 : 【久米常任幹事】

二次会 (30 階「パール」) : 21:15~23:00 (23:00 終了時間厳守)

ü 出来るだけ多くの人 (講演者、談話会幹事含む) に二次会に参加していただくように呼び掛けをする。

ü 二次会会場パールは、定員 64 名。

昨年同様に椅子だけでも多めに用意するようにする。(添付資料 4)。

7. 今後の予定

・講演者への要旨・略歴・交通経路など依頼 (7 月中旬)

・講演者から最終演題入手 (締切 8 月末)

・プログラム・ポスターの演者確認 (9 月上旬)

・プログラム・ポスターの幹事会承認 (9 月 14 日)

・講演者からの要旨・略歴・交通経路など入手 (9 月 21 日)

・会員及び講演者への年会案内の発信 (9 月 17 日の週、プログラム・ポスター添付)

・ショーケース原稿依頼 (9 月 24 日)

・PC/USB の確認(10 月中旬)

・要旨集の電子ファイル完成 (10 月下旬)

・要旨集製本完成 (10 月下旬)

・講演者、座長への最終確認 (10 月下旬)

- ・連絡シート及び進行用原稿の作成（10 月下旬）
- ・関係者へ最終案内，到着予定時刻の確認（10 月下旬）
- ・ショーケース原稿入手（10 月末）
- ・年会（11 月 15～16 日）
- ・各講演者及び組織委員の先生方への御礼メール
- ・年会反省点の取りまとめ

8. 協議事項

- ü 要旨集の作成については、日本ケミファをサポート会社として外部作成委託費用（例年 13 万円程度、140 部）を負担して頂くこととしたい。
- ü 意見交換会について（追補資料参考）
 - ・設定時間が短いため、参加者間の交流の場、食事の時間としても不十分ではないか。

添付資料 1



薬物動態談話会 第 41 年会 次世代の創薬を育む薬物動態研究

2018 年 11 月 15 日(木) 16:30～19:15

会場：オークラアクトシティホテル浜松 4 階 平安 I-II

会長挨拶

16:30～16:40 薬物動態談話会会長 独立行政法人理化学研究所 杉山 雄一 先生

特別講演

16:40～17:40 「がんプレシジョン医療の現状と課題」 座長 杉山 雄一 先生

シカゴ大学 中村 祐輔 先生

17:40～18:00 ウェルカムドリンク（ドリンクサーブ）

お飲物・おつまみを持って「ショーケース」へご参加ください

ショーケース “ Happy Hour! ～Welcome Preview～ ”

翌日の演者の先生方にご登壇頂き、シンポジウムの予告を含む「ショーケース」を開催します。本セッションで先生方のお人柄を垣間見ること、この後の意見交換会や二次会での気軽なクロストーク、そしてシンポジウムでの活発なディスカッションに繋がっていただけたらと思います。

ファシリテーター 千葉 雅人 先生、岩坪 隆史 先生

18:00～18:05 趣旨説明

18:05～18:30 講演予告 part1

シンポジウム 1 「AI, in silico 技術を活用した薬物動態および毒性の予測」

演者および杉山会長（6 名、各演者：3～5 分）

18:30～18:50 講演予告 part2

ミニシンポジウム「プロテアソームと創薬」演者およびシンポジウム 2 「核

酸医薬品開発を促進する薬物動態研究」演者（4 名、各演者：3～5 分）

展示企業によるブース紹介

ファシリテーター 久米 俊行 先生

18:50～19:05 ショートプレゼンテーション（1 社：2 分）

19:05～19:15 事務連絡

19:15～19:35 ドリンクサーブ（展示ブース見学）

19:45～21:15 意見交換会 (会場：3 階チェルシー)
(～23:00) (二次会, 会場：30 階パール)

2018 年 11 月 16 日(金) 6:30～ 朝食：2 階フィガロ 8:30～17:30 会場：4 階平安 I-II
--

基調講演

座長 千葉 雅人 先生
8:30～9:05 「ヒトのゲノム配列の解析と今後の課題；ゲノム解析の基礎、がんゲノム研究、リキッドバイオプシーの個別化医療への応用」
京都大学 藤本 明洋 先生

シンポジウム 1

AI, in silico 技術を活用した薬物動態および毒性の予測

座長 吉成 浩一 先生
加藤 晴敏 先生
基調講演
9:05～9:40 「シミュレーションと AI を組み合わせた ADMET 予測と構造提案への展開」
独立行政法人理化学研究所 本間 光貴 先生

9:40～10:10 「"CPathPred"を用いた薬物の消失経路推定の検証および活用(仮)」
武田薬品工業株式会社 遠山 季美夫 先生

10:10～10:30 コーヒーブレイク
座長 山下 富義 先生
平林 英樹 先生

10:30～11:00 「必要最小限の実験値と物理化学的記述子を用いた機械学習による高精度な組織-血液分配係数 (K_p 値)の予測のための 2D QSAR モデル開発(仮)」
帝人ファーマ株式会社 半田 耕一 先生

11:00～11:30 「機械学習による CYP3A4 阻害予測(仮)」
大塚製薬株式会社 笹原 克則 先生

11:30～12:00 「薬物の経皮吸収性予測のための機械学習アプローチ」
マルホ株式会社 馬場 廣海 先生

12:00～12:10 薬物動態談話会からのお知らせ (関連学会、セミナー等)

12:10～13:00 昼食 (会場：4 階平安 III)

会長講演

- 座長 久米 俊行 先生
13:00～13:40 「薬物動態特性を支配するクリアランスの理解；肝クリアランス、腎クリアランス、消化管アベイラビリティ(FaFg)、TMDD」
独立行政法人理化学研究所 杉山 雄一 先生

ミニシンポジウム

プロテアソームと創薬

- 座長 杉山 雄一 先生
13:40～14:20 「細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン法の開発」
国立医薬品食品衛生研究所 内藤 幹彦 先生
14:20～14:50 「Atypical pharmacokinetics of proteasome inhibitor drugs: Impact of the proteasome target abundance and dissociation rates」
Seoul National University WooIn Lee 先生
14:50～15:10 コーヒーブレイク

シンポジウム 2

核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究

- 座長 西川 元也 先生
基調講演 長谷川 博司 先生
15:10～15:45 「核酸医薬開発を加速する薬物動態研究」
東京理科大学 西川 元也 先生
15:45～16:15 「核酸医薬品の承認審査における薬物動態評価」
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 本間 尚子 先生
16:15～16:45 「核酸送達キャリア生分解性脂質ナノ粒子の開発」
エーザイ株式会社 鈴木 裕太 先生
16:45～17:15 「リガンド修飾核酸の PKPD モデリング」
塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛 先生

事務連絡

- 17:15～17:30 事務連絡



薬物動態談話会 第41年会

日程：2018年11月15日（木）～16日（金）

次世代の創薬を育む薬物動態研究

特別講演：「がんプレジジョン医療の現状と課題」

シカゴ大学 中村 祐輔

会長講演：「薬物動態特性を支配するクリアランスの理解；肝クリアランス、腎クリアランス、消化管アベイラビリティ(FaFg)、TMDD」

理化学研究所 杉山 雄一

基調講演1：「ヒトのゲノム配列の解析と今後の課題；ゲノム解析の基礎、がんゲノム研究、リキッドバイオプシーの個別化医療への応用」

京都大学 藤本 明洋

シンポジウム1：AI, in silico技術を活用した薬物動態および毒性の予測

基調講演2：「シミュレーションとAIを組み合わせたADMET予測と構造提案への展開」

理化学研究所 本間 光貴

「“CPathPred”を用いた薬物の消失経路推定の検証および活用(仮)」

武田薬品工業株式会社 遠山 季美夫

「必要最小限の実験値と物理化学的記述子を用いた機械学習による高精度な組織-血液分配係数 (Kp値)の予測のための2D QSARモデル開発(仮)」

帝人ファーマ株式会社 半田 耕一

「機械学習によるCYP3A4阻害予測(仮)」

大塚製薬株式会社 笹原 克則

「薬物の経皮吸収性予測のための機械学習アプローチ」

マルホ株式会社 馬場 廣海

ミニシンポジウム：プロテアソームと創薬

「細胞内の標的タンパク質を特異的に分解するプロテインノックダウン法の開発」

国立医薬品食品衛生研究所 内藤 幹彦

「Atypical pharmacokinetics of proteasome inhibitor drugs: Impact of the proteasome target abundance and dissociation rates」

Seoul National University Woojin Lee

シンポジウム2：核酸医薬品開発を促進する薬物動態研究

基調講演3：「核酸医薬品開発を加速する薬物動態研究」

東京理科大学 西川 元也

「核酸医薬品の承認審査における薬物動態評価」

医薬品医療機器総合機構 本間 尚子

「核酸送達キャリア生分解性脂質ナノ粒子の開発」

エーザイ株式会社 鈴木 裕太

「リガンド修飾核酸のPKPD モデリング」

塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛

ショーケース (11月15日18:05～) “Happy Hour! ～Welcome Preview～”

翌日の各講演の予告と演者紹介を兼ねた座談会です。グラスを片手にご参加を！

参加費：30,000円 (宿泊費込、会員会社限定)

初日のみ参加 (8,000円) , 2日目のみ参加 (10,000円) も可

会場：オークラアクティビティホテル浜松

JR浜松駅メイワン改札口東口より、徒歩3分 (Tel. 053-459-0111)

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付：

参加申込み受付中。<http://danwakai.jp/> 年間予定より

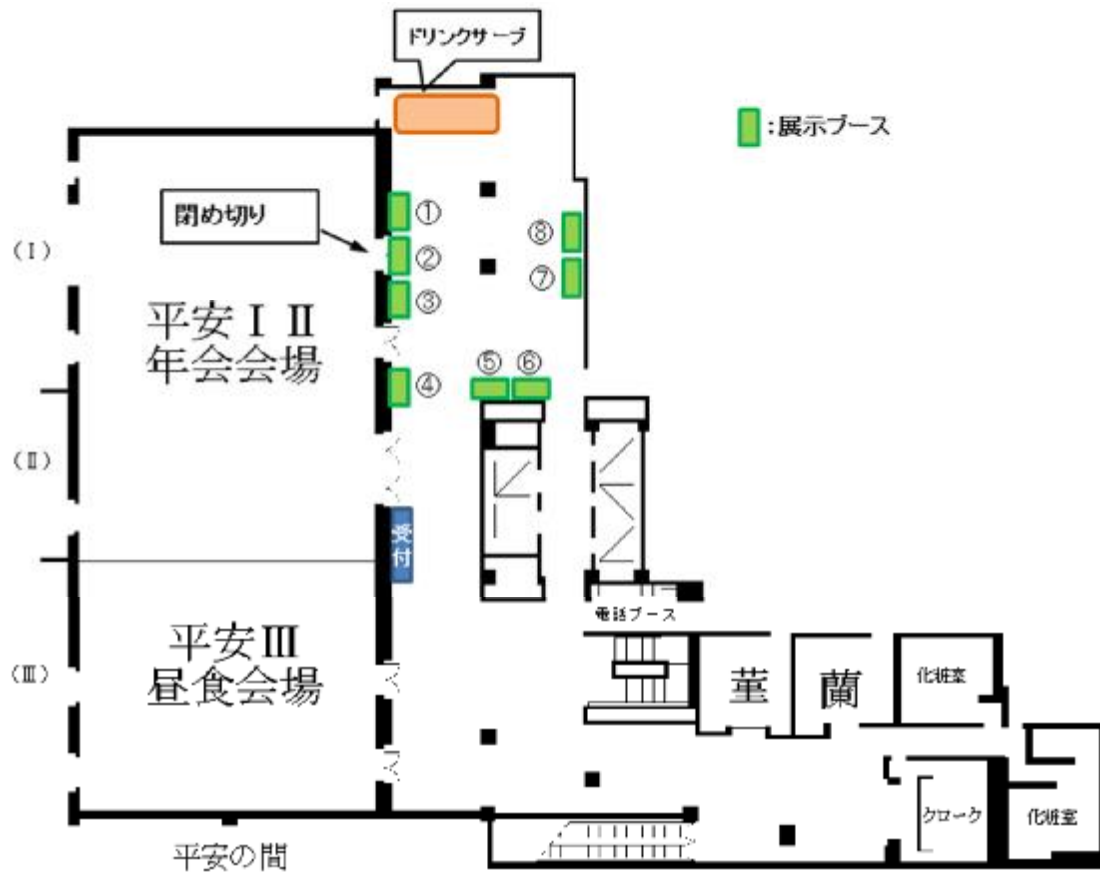
連絡先：薬物動態談話会 企画幹事 (第一三共株式会社)

安部 康司 abe.koji.ce@daiichisankyo.co.jp



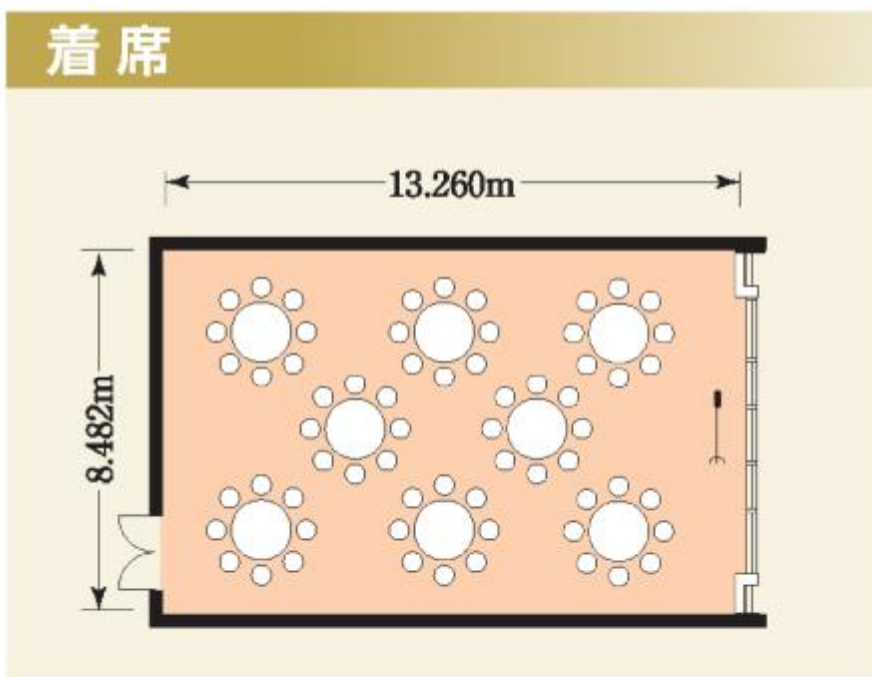
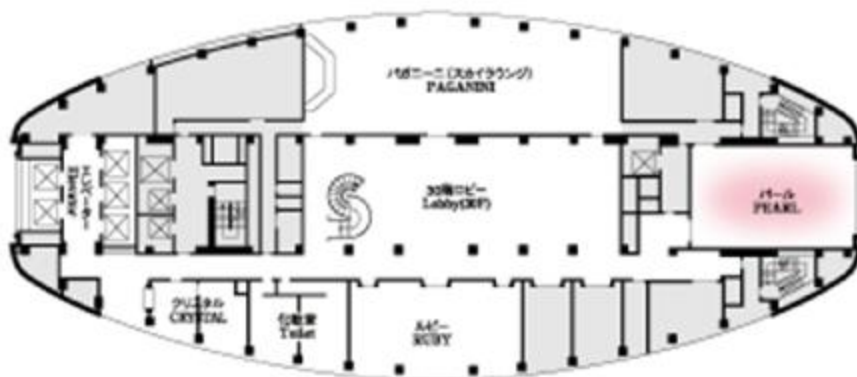
添付資料 3

年会会場：4 階「平安」 及び 展示ブース：4 階ロビー



添付資料 4

二次会会場：30 階「パール」



着席	64 名
立食	70 名
着席バイキング	56 名